

「ひと・まち・むすび」展示について

1 目的

コロナ時代の、高齢者をはじめとする地域の人とまちを結ぶ、フレイル予防やまちづくりの取り組みを紹介し、自分のまちの取り組みや、離れていてもつながる取り組みにはいろいろな方法があることを多くの人に知ってもらうきっかけとするため、下記のとおり展示を行った。

2 日時・場所

令和3年2月6日（土）、7日（日）11時から17時
グランデュオ蒲田 3階東西連絡通路

3 展示内容

- 紙製のイチョウの木（イチョウの葉に約2,200人が「ひとりぼっちじゃない、みんなつながっているよ」という想いを書いたもの）
- 地域の方が「コロナが終息し、いつもの元気なまちに戻りますように」と願いを込めて折った約2万羽の折鶴の一部
- 各地域で行われた「コロナ禍でも安全に散歩し体と心の健康維持ができたスタンプラリー」、「直接会えなくても手紙を使って気持ちを伝える」取り組み等
- フレイル予防・シニア世代の健康づくりに関するパンフレット

4 見学者数

約900名（連絡通路で展示し、密になる状況にはならず見学いただいた）

5 来場者の感想

- チラシを見て見学に来ました。外に出るきっかけとなり良かったです。
- とてもきれいです。良いものを見せていただき感謝します。
- 地域の皆さんはつながりを求めていると思います。
- 私たちの地域でもこんな取組をやりたいです。
- 子どもがはねぴょんボードにひかれて立ち止まりましたが、きれいでした。

